

委員会活動報告

総務産業建設委員会



ファントム工場視察の様子

瑞穂町商工会では、受発注の拡大などを旨とし、中小企業30数社でファントム工場を組織しています。4月17日、3工場を視察し、最新の技術などの説明を受けました。

瑞穂ファントム工場視察

1. 性急・拙速に進めることなく、地権者・地域住民・各種団体などの意見を取り入れ、十分に練り上げること。
2. 予算については、他事業の妨げにならないよう、しっかりと精査すること。
3. 経済効果の視点も持ち、観光やまちおこしに繋がっていくこと。
4. 専門の担当者を置き、事業の専門性・継続性を図ること。
5. 事業を進めるにあたり、議会ともよく協議をし、常に相談や報告を行うこと。

総務産業建設委員会では、この回廊計画については問題が多いとし、委員会・協議会・現地視察・先進地視察などを重ねてきましたが、議論をまとめ7月11日、町に左記の提言を行いました。

水・緑と観光を繋ぐ回廊計画に対する提言書を提出



都庁で行われたひきこもりに関する講演会

ひきこもりの若者が求めているものは、専用相談窓口の設置や家庭訪問の実施など、ひきこもり支援の拡充を図るべきである。町長の所見を伺う。町長 町では、保健師などに

質問 ひきこもりの状態にある若年者が都内に約2万5千人いると推計されている。ひきこもりに至る要因は多様とされるが、長期化する傾向があり、社会的孤立を招き、本人や家族の心理的負担は非常に大きいと言われる。自助努力での解決は難しく、自治体や専門機関の支援が欠かせない。住民の一番身近な自治体として、町は、専用の相談窓口の設置や家庭訪問の実施など、ひきこもり支援の拡充を図るべきである。町長の所見を伺う。町長 町では、保健師などに



下野 義子 議員（公明党）

町長 適切なアドバイスが受けられる環境づくりに努める

ひきこもり支援の拡充を

厚生文教委員会

新郷土資料館の建設に関する提言書を提出

厚生文教委員会では、町の郷土資料館建設計画を委員会の特定事件調査事項と位置づけ、委員会、協議会、管外視察を実施し、調査を進めてきました。

これらの調査結果を踏まえ、5月2日、教育委員会に対し、提言書を提出しました。

提言の内容は

1. 資料館の役割
2. 展示のコンセプト
3. 収集と研究
4. 体験学習
5. 映像

以上5項目。その中で、展示方法や歴史展示のあり方、収集と調査・研究スペースの十分な確保、屋内外の体験学習施設の整備と指導態勢映像の保存や発掘などについて提言しました。



議長から教育長へ提言書を提出

議会傍聴にお越しく下さい。

9月定例会（予定）

8月23日(木)	議会運営委員会	9月12日(水)	決算特別委員会
9月 3日(月)	本会議（一般質問）	13日(木)	決算特別委員会
4日(火)	本会議（一般質問・議案審議）	14日(金)	決算特別委員会
5日(水)	本会議（一般質問・議案審議）	19日(水)	議会運営委員会
7日(金)	総務産業建設委員会	21日(金)	本会議（議案審議）
10日(月)	厚生文教委員会		

9月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は、8月20日（月）になります。

■お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693（直通）